通学保護員の募集について

下荒田４丁目交差点ですが，１年近く保護員がいない状態が続いています。もし，お引き受けいただける方がいらしゃいましたら，八幡小まで連絡いただければ幸いです。

【通学保護員の募集場所の図】

- □　立哨時間は登校時の１時間（7:00～8:00 頃）
- □　立哨日は学校のある日です。立哨できない日は学校に連絡ください。
- □　ジャンバーやベスト，帽子は貸与されます。

児童用タブレットと充電器の持ち帰りについて

現１年生から５年生の児童は，春休みに児童用タブレット（iPad）を自宅に持ち帰ってもらいます。各担任からも声掛けがあると思いますが，春休みの間に，学習 AI ドリルの navima（ナビマ）など学年の復習などに取り組まれてください。

［お願い］

持ち帰ったタブレットは，始業式の翌日（４/８）に充電器とともに新しい学級に持ってくるようにしてください。よろしくお願いいたします。

鹿児島学力・学習状況調査の結果について

令和６年１月 22 日（水）に第５学年の児童が調査に臨みました。学力調査や児童質問紙（学習状況）の結果の概要等についてご報告致します。

［調査の目的］

(1)　学習指導要領において身に付けることが求められている知識及び技能や思考力，判断力，表現力等に関する学力の状況，児童の学習への意識や取り組む姿勢等の学習状況を把握する。

(2)　結果を基に，児童一人一人が自らの学習状況や学び方を振り返り，今後の学びに生かすことができるようにする。

(3)　授業の在り方を見直し，個別最適な学びの展開に向け，指導方法の改善を図り，児童の確かな学力の定着や向上を図る。

［調査の実施方法］

１人１台端末を使用したＣＢＴ方式（Computer Based Testing）

全県悉皆調査，小学校４教科，中学校５教科での CBT 実施は全国で唯一の試みです。

［ＣＢＴ方式のメリット］

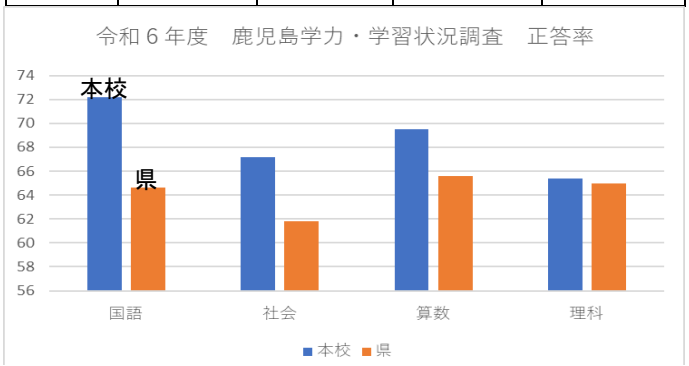
早く採点が結果出ること，また，一人一人の個人票が同時作成されるため，その後の追加指導の充実が図られます。

［学力調査結果］

４教科の平均通過率の結果は次のとおりです。

令和6年度鹿児島学力･学習状況調査　平均正答率

	国語	社会	算数	理科
本校	72.2	67.2	69.5	65.4
県	64.6	61.8	65.6	65



(学力調査の分析)

全ての教科で県の正答率を上回る結果となりました。一方で，各教科課題となる領域も見られましたので，今後の補充指導の充実や学校での指導の在り方の改善を図っていきます。

国語	□　修飾語，被修飾語の関係，接続語の役割の理解 □　話合いに参加しているお互いの立場や話の意図をつかみ，自分の主張を組み立てる力
社会	□　図や表，グラフなど複数の資料を分析し，答えを見出す力（自動車産業の特長や日本の貿易の特色）
算数	□　平行四辺形の性質と作図の仕方の理解 □　折れ線グラフ，棒グラフから必要情報の読取り
理科	□　電流の向きを確かめる機器の仕組の理解 □　海水の水を蒸発させると食塩が取り出せる理由

【表１各教科の正答率から見た課題問題の内容】

［児童質問紙の結果］

鹿児島市でも，市教委の指導の下，非認知能力向上に向けた取組が各校で試みられています。

質問紙では，学習への意識や取り組む姿勢である「主体的な学び」「学びに向かう力」「粘り強さ」「自己肯定感」「承認実感」などの非認知能力に関する質問が出され，次の結果となりました。

非認知能力に関わる設問	本校	県
課題解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいましたか。【主体的な学び】	62.2	31.6
分かった点，分からなかった点を見直し，次の学習につなげることができたか。【省察力】	54.1	39.7
自分でやると決めたことは，やりとげるようにしていますか。【粘り強さ】	59.5	47.9
友達と話し合い，自分の考えを深めたり，新たな考え方に気付いたりすることができていますか。【協働的な学び】	56.8	56.6
自分には，よいところがあると思いますか。【自己肯定感】	48.6	38.2
先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。【承認実感】	68.9	48.8

【表２　非認知能力に関わる設問の結果　「当てはまる」と回答した児童の割合(%)】

(児童質問紙の分析)

非認知能力の育成は，現行の学習指導要領でも求められています。

本校の５年生は，主体的な学びや学びに向かう力，自己肯定感等が高まりつつあります。今後も授業充実を通じてこれらの力を高めることができるよう指導方法の工夫に努めてまいります。